

工業振興策の拡充・強化、及びアルネ問題

津山新星会議 野村昌平



質問 ↓地域活性化、雇用の確保、税収確保のためにも、内陸工業都市として戦略的再構築が必要と考えるが、現状と対策は。

答弁 ↓市内の製造品出荷額は、平成十三年で千六百四十四億円であり、平成三年のピーク時より三割減となっている。最近、立地の引き合いが出てきたので、優遇策を考えながら誘致を推進してゆく。

質問 ↓まもなく提案されるアルネ最終案では、追加的の公金投入が想定されているが、津山市と三セク（街づくり会社）の間で、公金投入の在り方につき、あらかじめ取り決めをしておく必要があると考えるが。

答弁 ↓最終案提出後には、考えてみる必要があるのではないかと、今は思っている。

目立つ不法投棄、対策は

津山新星会議 近藤吉二郎



質問 ↓横山の市最終処分場はいつまで使えるのか。また、満杯後、総合ごみ処理センター建設までの処理計画は。

答弁 ↓今後約三年間使用可能。不燃物の残渣、瓦礫類、土砂といったすべての埋め立てごみについても地区外持ち出しを考えなければならぬ。
質問 ↓路上等で不法投棄が目につくが対策は。

答弁 ↓関係団体と協力を図りながら防止

に努めている。積極的に罰則の広報、啓発を行っていく。
質問 ↓ボランティアアパトロール隊を秋に結成することが決まったが今後の予定、志願者の指導、活動内容は。

答弁 ↓武道団体や市職員等の参加が進んでおり態勢が整い次第活動を開始。警察、先進団体等にノウハウを身につけてもらう。

自主防災組織の組織率アップを

津山新星会議 佐々木裕子



質問 ↓自主防災組織の組織率は七%だが、どのような手順で作っているか。

答弁 ↓設立用のパンフレットを用意し、要請によりビデオを使った説明会の開催を行っている。

質問 ↓現在組織している町内会とはどのようなかわりを行っているか。

答弁 ↓できるだけ情報提供を行っている。高齢者や子どもの見守りのためにも早急に組織率を上げる必要がある。

今後どのように進めていくのか。また、各組織の意見を聞き的確な情報提供をすることや、組織の意識を上げる取り組みも必要だが考えは。

答弁 ↓組織率アップは町内会に働きかけ、積極的に進めていく。圏域消防組合の援助も依頼し、防災講演会、取り組みの発表会などの開催も考えていきたい。

学校相談員の事業、人選はどうなっているか

政津クラブ 高橋誠



質問 ↓学校相談員の事業実施、人選はどのようになっているのか。美作高校通信制の重要性から、市と県の支援はどう図られたのか。バスの現状は厳しいが、行政として住民の足をどのように確保するのか。JRは合併で広域化となる。新たな利用促進、活性化は具体的にどう図るのか。

答弁 ↓学校だけで対応できない問題行動で、当該児童・生徒・保護者の支援

事業で教育、実情に通じた人材を配置した。市は私学振興支援を行っており、県への補助金増額要請は積極的に行う。合併で地域交通プラン策定システムを導入。交通対策プロジェクトにより新市域の住民の足の確保と効率的な公共交通の配置をしたい。新市で利用促進に向け地元協議を通じて行政として前向きに検討したい。